

令和5年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3学年)

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
一 学 期	4	ガイダンス	○キャリア教育を実施する ・生徒の興味・関心に基づき、適切な進路課題を設定させる。	次の観点に基づき、評価する。 (1)適切な課題を設定している。自ら学び、主体的に課題を解決する資質や能力が高まっている。	4
	5	学習活動 調査・研究	・それぞれの進路課題に基づき、職業・上級学校・学部・学科・学問分野についての調査研究を行う。方法としては、学校図書館やインターネットの活用、フィールドワーク、自己表現の工夫など、多様な方法で取り組む。長期休業中や放課後を利用した活動が出来るように工夫する。	(2)長期休業中や放課後に積極的に調査・研究ができています。 (3)学習活動に意欲的に取り組み、自己の在り方、生き方を考える素質が養われている。	4
	6				4
	7	自己評価 発表	・長期休業に向け、これまでの活動の自己評価を行いながら、ポスターセッションなどの発表を行う。一学期を振り返り、まとめる。	(4)自主的な学習により、学習成果が上がっている。	3
二 学 期	9	学習活動 調査・研究	・長期休業中に自身の活動で得た成果を確認し、進路課題設定を行い、職業や上級学校・学部・学科・学問分野についての調査研究を引き続き行う。 ・5月6月と同様に学習を継続する。	(5)1年間の成果をまとめることができています。 毎回のレポート作成や観察、自己評価や相互評価により、生徒にどのような力が付いたか上記の観点から評価する。	4
	10	学習活動 調査・研究			4
	11	自己評価 中間発表	・学習活動が出来たかを、評価計画に基づき自己評価しながら、卒業に向けて総まとめの準備に入る。高校での教育活動の意味及び自己の将来への関連性を理解する。		4
	12				4
三 学 期	1	学習活動 まとめ 発表	・自己の具体的な進路と結びついたかどうか、成果を確認しまとめ、発表する。		3
	2				1
	3				
配当時間 数の合計			キャリア教育を中心に据える。進路指導部と3学年が連携して行う。(15名)		35